

(平成29年度実施分)

申請団体	小田生き活き健康村
事業名	伝統行事継承大名行列(子ども)事業
総事業費	164,000円
助成額	142,000円
事業の目的	ふるさと(郷土)の歴史・文化・伝統芸能の継承 および児童の育成に寄与するために、大名行列の 装束(法被、脚絆)を新調する。

【団体活動等推進事業とは】

玖珠町が取り組んでいる『童話の里コミュニティ推進事業』の「コミュニティ推進枠」及びコミュニティ基金から事業費の一部を補助することとしています。

平成30年度も地区団体推進事業の補助申請を受け付けますのでお申し込みの自治体は玖珠自治会館までお問合せください。

TEL 72-1511

「ご存知ですか?」
「団体活動等推進事業」

各地区及び団体が、地域活性化のために、地域で行われる事業・行事等に対して、童話の里コミュニティ推進事業の補助制度です。

学校支援事業

地域の支援で
楽しい体験【最後の食育支援は
子育て団子汁】

小田小は地域の方の支援で食育にも力を入れています。校庭の梅をちぎって、梅干しつくりもできました。そして、2月末に全校で子育て団子汁をつくり、美味しくいただきました。いつも支援していただきありがとうございました。んとカズ子さんの阿吽の呼吸で、母親をいたわる意味で、使わない食材、お乳が良く出る食材など、経験を踏まえての説明でした。



団子汁の説明をする支援員

【昔の遊び集会】

塚脇小では、1年生が昔の遊び集会で、お手玉・あやとり・けん玉を、地域の名人を招いて体験できました。名人とはいっても、事前に練習会をして、一人でも夢に出るくらい何度も練習をして臨みました。結果、子どもたちは大喜びで、『けん玉が出来るようになったよ!』『あと少しであやとり出来るようになったの!』などの声が聞かれ、一緒に参加していただいた祖父母とも、後日話が弾んだことでしょう。



けん玉に挑戦する1年生

【七輪体験】

3年生は「昔の道具と人々の暮らし」の単元を頑張ったご褒美に、七輪で火をおこし、お餅を焼いて食べました。寺山の杉の枝を子どもたちで取りに行

き、それを焚き付けにも使いました。「あんなに嬉しそうに、弾けた子どもたちの顔を見たのも久しぶりだ」と仲校長先生も担任も口をそろえて言われていました。大人になっても、きっと思い出すことでしょう。



七輪で焼いた餅を食べる3年生

地域の知恵を学校の教育活動に生かしてサポートしていく。これがコミュニティスクールです。今後も小田小学校・塚脇小学校を温かく見守り、玖珠の宝を育てましょう。

また、玖珠中は今年度(平成30年度)で閉校になります。この一年、玖珠中の最後を皆で見届け、支援をよろしく願います。

玖珠中学校区コーディネーター

岩尾純子